

第20回
事業報告書
通常総会 議案書

自 令和2年 4月1日
至 令和3年 3月31日

【目次】

第1号議案：	令和2年度 事業報告	・・・・・・・・・・	1
第2号議案：	令和2年度 収支報告	・・・・・・・・・・	3
第3号議案：	令和3年度 事業計画	・・・・・・・・・・	7
第4号議案：	令和3年度 収支予算	・・・・・・・・・・	8

NPO法人
京都大原里づくり協会

【第1号議案： 令和2年度 事業報告】

令和2年度事業報告

[はじめに] 令和2年6月6日、第19回総会が開催されました。今回の総会は「コロナウイルス禍」の中であるため、会議開催を取りやめ議決書によるものでした。

1 議決書と出席者の議論によって次のように当面の活動等を取り決めました。

- ① 出席者 昨年度理事、事務局の8名 委任状50名
- ② 主な決定事項
 - ・ 事業報告、決算、事業計画、予算原案で承認
 - ・ 里づくり協会の今後については、1～2年間かけて会員との意見交換を行いながら方向性を探ります。その間の役員体制は、現体制を維持して進めます。
 - ・ 「大人の原大提言」「里づくり会」「御香水支援」「水生生物調査」「惟喬親王法要」等の開催はウイルスの感染が危惧されることから、休止せざるを得ない。
 - ・ 以上の状況から今年度の会費は徴収しない。
 - ・ 大原草紙は従来通り発行する。

2 NPO 運営態勢

(1) 業務担当

榎並理事長	総括、カントリーウオーク、
上田副理事長	大原提言、里づくり会、勝手神社関連、
高倉常務理事	環境保全、高野川水生生物調査、大原海外留学生、
西田理事	大原草紙、
久保満理事	登山ポスト、登山道整備、カントリーウオーク、
安田理事	勝手祭り関連事業、勝林院関連事業、
監事 久保 勝	
監事 中林義夫	

暫定理事会であり、任期は長くとも令和4年5月(通常総会終了のとき)

(2) 事務局態勢

竹腰サポーター	ホームページ、総務事務、会計事務
高倉有里	生ごみ回収堆肥化作業管理・大原ゴミ減量会議
高田サポーター	大原草紙、里づくり会
安倍サポーター	大原草紙、

(3) 業務報告

- ① 会員の増減状況は入会0名、退会3名、今期末現在員総数は89名です。
- ② 理事会の開催 基本的に3ヶ月毎に開催してきました。3回開催
- ③ コロナ禍で各種活動は延期、中止が続いていますが、以下のような取り組みを行いました。
 - ・ 9月17日(木)神戸区役所、同区山田町大原地区視察、里協にヒヤリング。上田、西田対応
 - ・ 9月18日(金)京都大原学院朝会、全生徒に記念アルバム「大原の里」説明、西田出席
 - ・ 9月28日(月)卒業論文作成のためのヒヤリング「中山間地の地域コミュニティ」上田対応
 - ・ 10月4日(日)「京都外国語大学外部連携活動による「大原学区のみなさまとの協働に向けて」京都外大、龍池財団、大原自治連、里づくり協会協議、上田出席
 - ・ 10月4日(日)勝林院堂、「幽谷黎明」声明・琴・尺八の会 約70名参加
 - ・ 10月10日(土)勝林院堂で惟喬親王1124年法要。台風14号接近により中止。
 - ・ 10月17日(土)勝手神社、勝林院堂で勝手祭と声明の集い

④ 広報紙「大原草紙」の発行

- ・71号 春季号 令和2年 5月発行（第19回総会議案を掲載するため1か月延期）
- ・72号 夏季号 令和2年 8月発行
- ・73号 秋季号 令和2年 10月発行
- ・74号 新春号 令和3年 1月発行
- ・75号 春季号 令和3年 4月発行

その他

◎令和3年5月10日の理事会にて、以下の変更がありました。

氏名	変更内容 / 理由
榎並 博一	理事長を辞任⇒理事 / 一身上の都合により
西田 誠	理事⇒理事長に就任 / 定款の第14条に基づき理事会で決定

【第2号議案： 令和2年度 収支報告】

令和2年度 収支報告書

令和2年 4月1日～ 令和3年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当初予算額	決算額	備考
I 経常収入の部			
1 会費収入	0	0	
正会員会費	0	0	
賛助会員会費	0	0	
2 補助金等収入	36,000	962,330	
補助金（歴史文化）	0	926,000	幽谷黎明（勝林院コンサート）
補助金（環境保全）	36,000	36,330	ゴミ減（京都市より）
協賛・寄付	0	0	
3 その他収入	0	8,602	
雑収入	0	8	預金利息
	0	8,594	寄付金 等
経常収入 合計	36,000	970,932	
II 経常支出の部			
1 事業費	486,000	1,110,700	
(1-1)歴史文化	0	926,000	幽谷黎明（勝林院コンサート）
(2)景観・環境保全	236,000	37,000	看板修理予定20万⇒なし ごみ減委託3.6万+会費1千
(3)広報誌発行	150,000	147,700	5回分
(4)留学生奨学金	100,000	0	2名分予定⇒なし
2 管理費	185,500	158,955	
会議費	10,000	0	史跡調査 お茶代等⇒なし
通信運搬費	30,000	26,466	総会の案内ハガキ、郵便
広告宣伝費	5,500	4,928	ホームページ、サーバー
事務用品費	25,000	12,978	コピー用紙、インク、宛名シール、封筒印刷（500部）
消耗品費	0	0	なし
修繕費	0	0	なし
保険料	0	0	なし
賃借料	0	0	なし
雑費	5,000	4,583	印鑑証明×8、振込手数料など
外注費	110,000	110,000	事務委託
経常支出 合計	671,500	1,269,655	
経常収支差額	△ 635,500	△ 298,723	
予備費	10,000	0	
当期収支差額	△ 645,500	△ 298,723	
前期繰越正味財産額	2,565,349	2,565,349	
次期繰越正味財産額	1,919,849	2,266,626	

貸借対照表

令和3年 3月31日現在

特定非営利活動法人 京都大原里づくり協会

(単位：円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金	1,690,246	
未収金	466,380	
前払金	110,000	
流動資産合計		2,266,626
2 固定資産		
固定資産合計		0
資産合計		2,266,626
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金		
流動負債合計		0
負債合計		0
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産	2,565,349	
当期正味財産増減額	△ 298,723	
正味財産合計		2,266,626
負債及び正味財産合計		2,266,626

財産目録

令和3年 3月31日現在

特定非営利活動法人 京都大原里づくり協会

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部		(内訳)	
1 流動資産			
現金預金	1,690,246		
普通預金 JA大原支店		371,224	
振替口座 ゆうちょ銀行		1,319,022	
未収金	466,380		
補助金		226,000	
立て替え払い		240,380	
前払金	110,000		
流動資産合計			2,266,626
2 固定資産			
固定資産合計			0
資産合計			2,266,626
II 負債の部			
1 流動負債	0		
未払金		0	
流動負債合計			0
負債合計			0
正 味 財 産			2,266,626

令和2年度 監査報告

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

NPO法人

京都大原里づくり協会

理事長	西田誠
副理事長	上田寿一
常務理事	高倉哲法
理事	榎並博一
理事	久保満
理事	多紀颯忍
理事	藤井宏全

会計書類を監査した結果、正確かつ適法であることを確認します。

令和3年 5月29日

監事	中林義夫
監事	久保勝

【第3号議案： 令和3年度 事業計画】

令和3年度事業計画(案)

【はじめに】

令和2年3月1日、里づくり協会の第3回理事会を開催し、第19回総会(令和2年6月6日)において、当協会の存続について引続き協議する。としてきたことについて協議しました。

会議では会員から「里づくり協会を解散することは惜しい」と存続を希望する声も上がったため、変則的な状況を抜け出し存続の道筋をつけるため今後の日程を確認しました。

令和3年5月10日 第4回理事会 第20回総会議案の策定、理事長の選任。

令和3年5月29日(土) 第20回定期総会 総会議案の審議。

1 創立の原点に立ちかえり

今年度里づくり協会は創設20年を迎えます。(NPO 法人認可は2003年4月1日)

発足時、活動目標として

- ① 大原の原風景を守る里づくり
- ② 歴史と自然を守る里づくり
- ③ 新しい観光と農業の振興による里づくり
- ④ 多世代が楽しく暮らせる里づくり

この4項目を原点に、自主的に活動し、会費を拠出しあって活動を展開してきました。

この出発点に立ち戻り20年の節目の時に新たな一歩を踏み出します。

2 活動の目標

- ① 新型コロナウイルスと共存する新時代。従来型の活動開催は困難を伴いますが、人は「集まり話し合い、行動する」ことは大切です。新型コロナのワクチン投与、治療方法の確立までの間、活動実施に際しては感染拡大等を避けるため念入りに慎重に取組みます。
- ② 大原地域内の各種団体と連携を強めながら活動を進めます。
- ③ 大原の自然環境に魅力を感じ、この環境の中で子育てをしたいという子育て世代が増加しています。空き家探しの支援、里山で協働作業をするなど具体的な行動を通して大原になじめるよう応援して行きます。
- ④ 会員の拡大と、活動テーマごとにグループを作り積極的に活動参加出来やすい場を設けて「サポーター制」を幅広く展開します。
- ⑤ 「大人の原提言」「里づくり会」「御香水支援」「水生生物調査」「惟喬親王法要」等の開催はウイルスの感染①で示したように開催に際しては関係者と協議し慎重に計画実施します。
- ⑥ 里づくり協会結成20周年記念事業については、実施時期、方法などさらに検討します。
- ⑦ 当面、イベント等の経費は参加費、助成金等で賄うことを基本に取組みます。
- ⑧ 新型コロナウイルスの状況を鑑みて、今年度も会費を集めない方針とします。

【第4号議案： 令和3年度 収支予算】

令和3年度 収支予算書

令和3年 4月1日～ 令和4年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	前期実績	予算額	備考
I 経常収入の部			
会費収入	0	0	
正会員会費	0	0	
賛助会員会費	0	0	
補助金等収入	962,330	36,330	
補助金（歴史文化）	926,000	0	※1
補助金（環境保全）	36,330	36,330	ゴミ減3.6、他予定なし
その他収入	8,602	0	
雑収入	8	0	預金利息等
	8,594	0	寄付金など
経常収入 合計	970,932	36,330	
II 経常支出の部			
事業費	1,110,700	287,000	
(1) 歴史文化	926,000	0	※1
(2) 景観・環境保全	37,000	37,000	ごみ減委託3.6万＋会費1千
(3) 広報誌発行	147,700	150,000	
(4) 留学生奨学金	0	100,000	検討中
管理費	158,955	220,500	
会 議 費	0	10,000	史跡調査 お茶代など
通 信 運 搬 費	26,466	30,000	はがき7千、郵便2.3万
広 告 宣 伝 費	4,928	5,500	ホームページサーバー
事 務 用 品 費	12,978	10,000	印刷用紙、インク、タックシールなど
消 耗 品 費	0	0	
修 繕 費	0	0	
保 険 料	0	0	
賃 借 料	0	0	
雑 費	4,583	55,000	梅の宮 整備 5万 銀行手数料など5千
外 注 費	110,000	110,000	事務委託
経常支出 合計	1,269,655	507,500	
経常収支差額	△ 298,723	-471,170	
予備費	0	0	
当期収支差額	△ 298,723	△ 471,170	
前期繰越正味財産額	2,565,349	2,266,626	
次期繰越正味財産額	2,266,626	1,795,456	

※1 文化庁に事業申請中（勝林院コンサートなど、全額補助金にて）
採択された場合は最大600万円規模となる見込み。